

第二十五番 総本山知恩院の御詠歌（本願調）

（弥陀本願の御詠歌）

♩ = 53

松 濤 基 編曲



〔詠頭〕 × ○ × ○ × ○ × ×
く — — さ — — — も — — — き — — —



○ × × ○ × × ○ × × ○ × ×
も — — — — か — れ た る の — べ に



○ × ○ × ○ × ○ × ×
た — だ — ひ — と — り — — ま — つ の — み —



○ × × ○ × × ○ × × ○ × ×
の — — こ る — み — — だ — — — — の — ー



第二十五番 山城の国 総本山知恩院

草も木も 枯れたる野辺に ただひとり 松のみ残る 弥陀の本願
(観智国師御作)

浄土宗開創の念仏の根本道場であり、法然上人の御真骨を安置した御廟所のある浄土宗七千余カ寺の総本山であります。華頂山知恩教院大谷寺かちうざん ち おんきういん おおたにでらと言うのが正しい名称であります。法然上人は43歳の御時、承安5年(1175)3月14日、南無阿弥陀仏と唱えるお念仏の声により、弥陀の本願に乗じて必ず浄土に往生することを得る、という浄土の法門を開かれました。末法万年の後すべての経文は滅んでも、お念仏の教えだけは後々までも生き続け、ひたすら衆生を救う力を増すと教えられています。観智国師(1544～1620)は、増上寺の第12世で源誓存応慈昌上人といい、徳川家康公の帰依を受け、法然上人の徳を慕い、総本山知恩院の興隆と近世浄土宗発展の基礎を築かれた高僧です。

大意 冬の木枯らしの吹きすさぶなか、すべての草木が枯れてしまった野辺に、松だけが常磐とときわの緑をきわだたせているように、すべての教えがすたれてしまっても、弥陀の本願の御教えだけは何時いつまでも、私たちを護り導かれるのであります。

ポイント注意

- 「くさもき」などの各音の立ち上がりは洋楽の装飾音風でなく、しっかりと力を込めて。
- また、「かれたる」の「か」、「ただひとり」の「た」の音程に注意。